年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（２学年用）　　教科　保健体育　　科目　保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　A 組　・C 組

教科担当者：（Ａ組：澤野）　（Ｃ組：澤野）

使用教科書：（ 大修館　現代高等保健体育 ）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
心身の健康や安全に関心をもち、意欲的に学習し、自ら健康で安全な生活を実践できるようにする。健康・安全の意義を理解するとともに、解決に役立つ基礎的事項を理解し、知識を身につけるようにする。	心身の健康や安全に関する課題を見つけることができ、課題の解決を目指して科学的に考えたり、多角的に捉えることにより、適切な意志決定や行動選択ができるようにする。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目	指導内容	評価基準	知	思	態	配当時数
1学期		オリエンテーション		【知識・技能】 ・健康を保持増進するためにの基本的事項について理解しているか。・健康課題の解決に役立つ知識を身につけているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康課題の解決のために、学習したことなどを参考に考えているか。・身近な生活の中の健康課題に気付いているか。・健康の大切さを理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に学習に取り組んでいるか。			○	1
	３単元 生涯を通じる健康 心や体は高校生の時期から大人に近づき、年齢を重ねながら変わっていく。それにともない、生涯の各段階で健康課題も変化する。思春期から中高年期までに出会うさまざまな健康課題について学ぶとともに、労働と健康との関係や、働く人々の健康が保持増進されるしくみなどのついて学ぶ。	単元1　ライフステージと健康	ライフステージと健康の関連について説明できるようにする。		○		○	1
		単元2　思春期と健康	思春期における体の変化を、男女に分けて説明できるようにする。			○	○	1
		単元3　性意識と性行動の選択	性意識の男女差について例をあげて説明できるようにする。		○		○	1
		単元3　性意識と性行動の選択	性意識の男女差について例をあげて説明できるようにする。		○		○	1
		単元4　妊娠・出産と健康	妊娠・出産の家庭における健康課題について説明できるようにする。		○		○	2
		単元5　避妊法と人工妊娠中絶	家族計画の意義と適切な避妊法について説明できるようにする。			○	○	1
		単元6　結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係について説明できるようにする。			○	○	1
		単元7　中高年期と健康	加齢に伴う心身の変化について例をあげて説明できるようにする。		○		○	1
		単元7　中高年期と健康	加齢に伴う心身の変化について例をあげて説明できるようにする。		○		○	1
		単元8　働くことと健康	働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できるようにする。			○	○	1
		※ 定期考査	１学期期末考査実施		○	○	○	1
		※ 答案返却	答案返却　答え合わせ　１学期振返り		○	○	○	1
2学期	４単元 健康を支える環境づくり 人々が健康に生きていくためには、周囲の自然環境や食品に関する健康課題を学ぶことは、必要不可欠である。また、社会の制度や保健活動といった社会環境のあり方も重要である。この単元では、環境・食品と健康との関係を学ぶと同時に、社会全体の健康を高めるために、私たち１人ひとりが環境づくりに積極的に参加する意義やその方法について学習する。	単元9　労働災害と健康	労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できるようにする。	【知識・技能】 ・健康を保持増進するためにの基本的事項について理解しているか。・健康課題の解決に役立つ知識を身につけているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康課題の解決のために、学習したことなどを参考に考えているか。・身近な生活の中の健康課題に気付いているか。・健康の大切さを理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に学習に取り組んでいるか。	○		○	1
		単元10　健康的な職業生活	職場が行う健康に関する取り組みについて例をあげて説明できるようにする。			○	○	1
		単元1　大気汚染と健康	大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できるようにする。			○	○	1
		単元2　水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚濁・土壌汚染の原因とその健康影響を説明できるようにする。		○		○	2
		単元3　環境と健康にかかわる対策	環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できるようにする。		○		○	1
		単元4　ごみの処理と上下水道の整備	ごみの処理の現状やその課題について説明できるようにする。			○	○	1
		単元5　食品の安全性	食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できるようにする。			○	○	1
		単元6　食品衛生にかかわる活動	食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できるようにする。		○		○	1
		単元7　保健サービスとその活用	保健行政の役割について例をあげて説明できるようにする。			○	○	2
		単元8　医療サービスとその活用	我が国における医療保険の仕組みについて説明できるようにする。			○	○	1
		単元9　医薬品の制度とその活用	医薬品の正しい使用法について説明できるようにする。		○		○	1
		※ 定期考査	２学期期末考査実施		○	○	○	1
		※ 答案返却	答案返却　答え合わせ　２学期振返り		○	○	○	1
3学期	２単元 安全な社会生活安全は誰もが享受するべきものであり、そのためには、交通事故だけではなく、そのほかの事故、自然災害、犯罪などへの備えが必要である。また、多くの人が応急手当に関する知識や技能をもっている社会なら、仮に被害が起こってもそれを最小限にすることができるであろう。この単元では、安全な社会づくりなどについて学習する。	単元10　さまざまな保健活動や社会的対策	国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できるようにする。	【知識・技能】 ・健康を保持増進するためにの基本的事項について理解しているか。・健康課題の解決に役立つ知識を身につけているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康課題の解決のために、学習したことなどを参考に考えているか。・身近な生活の中の健康課題に気付いているか。・健康の大切さを理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に学習に取り組んでいるか。	○		○	2
		単元１１　健康に関する環境づくりと社会参加	健康の保持増進のための環境づくりについて説明できるようにする。		○		○	2
		単元４　応急手当の意義とその基本	応急手当の意義について説明できるようにする。		○		○	2
		単元５　日常的な応急手当	日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できるようにする		○		○	2
		※ 定期考査	学年末考査実施		○	○	○	1
		※ 答案返却	答案返却 答え合わせ　３学期学年振返り		○	○	○	1
								合計 39